

下田メディカルセンター公的医療機関等 2025 プラン修正に係る新旧対照表

頁	修正前	修正後	修正理由
14	<p>(前略)</p> <p>③ 下田メディカルセンターの課題</p> <p>当病院は、平成 24 年 5 月の移転新築以降、平成 28 年度に入り外来患者及び入院患者とも大幅な増加傾向を示しているものの、<u>平成 27 度までの病床利用率は「3年間継続して 70%未満の病院」に該当するなど低迷したことを踏まえ、今後においても現在の増加傾向を継続できるよう、さらなる改善努力が重要事項となっています。</u></p> <p>圏域内の伊豆今井浜病院では 100 床を増床し、<u>伊豆東部総合病院でも増築工事が進められるなど、今後における病床利用率の下降が懸念される状況にあります。</u></p> <p>(省略)</p> <p>一方、指定管理者の病院事業会計は、平成 28 年度決算で約 <u>90,654</u> 千円の純利益を確保しましたが、累積欠損金の解消は数年先になるものと見込んでいます。</p> <p>(後略)</p>	<p>(前略)</p> <p>③ 下田メディカルセンターの課題</p> <p>当病院は、平成 24 年 5 月の移転新築以降、平成 28 年度に入り外来患者及び入院患者とも大幅な増加傾向を示しているものの、<u>依然として病床利用率は「3年間継続して 70%未満の病院」に該当したことを踏まえ、今後においても現在の増加傾向を継続できるよう、さらなる改善努力が重要事項となっています。</u></p> <p>圏域内の伊豆今井浜病院では 100 床を増床し、<u>康心会伊豆東部病院でも増築を前提とした新築工事が完了するなど、今後における病床利用率の下降が懸念される状況にあります。</u></p> <p>(省略)</p> <p>一方、指定管理者の病院事業会計は、平成 28 年度決算で約 <u>90,691</u> 千円の純利益を確保しましたが、累積欠損金の解消は数年先になるものと見込んでいます。</p> <p>(後略)</p>	<p>字句修正 誤謬修正 時点修正</p>
15	<p>(前略)</p> <p>今後とも中核病院としての役割を果たすことが地域医療の確保のため必要不可欠であることから、指定管理者及び関係機関と協力し、<u>急性期機能を堅持しつつ、回復期機</u></p>	<p>(前略)</p> <p>今後とも中核病院としての役割を果たすことが地域医療の確保のため必要不可欠であることから、指定管理者及び関係機関と協力し、<u>急性期機能を堅持することはもとよ</u></p>	<p>時点修正</p>

	<p>能の更なる充実を図ることを目標とします。</p> <p>(後略)</p>	<p>り、回復期機能については圏域内他病院の整備状況を踏まえつつ、充実に努めることを目標とします。</p> <p>(後略)</p>																																								
16	<p>(前略)</p> <p><今後の方針></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現在 (平成28年度病床機能報告)</th> <th></th> <th>将来 (2025年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>—</td> <td rowspan="5">→</td> <td>予定なし</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>101床(うち地域包括16床)</td> <td>現段階で変更予定なし 当該医療機関を取り巻く情勢を鑑み、検討していく</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>45床</td> <td></td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td>150床(うち感染症4床)</td> <td>150床(うち感染症4床)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(後略)</p>		現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)	高度急性期	—	→	予定なし	急性期	101床(うち地域包括16床)	現段階で変更予定なし 当該医療機関を取り巻く情勢を鑑み、検討していく	回復期	45床		慢性期	—		(合計)	150床(うち感染症4床)	150床(うち感染症4床)	<p>(前略)</p> <p><今後の方針></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現在 (平成28年度病床機能報告)</th> <th></th> <th>将来 (2025年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>—</td> <td rowspan="5">→</td> <td rowspan="2">予定なし</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>101床(うち地域包括16床)</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>45床</td> <td>39床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>—</td> <td>予定なし</td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td>150床(うち感染症4床)</td> <td>144床(うち感染症4床)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中略)</p> <p>方針・3階の回復期病床2室6床を、外来患者専用の化学療法室に転換を図り、抗がん剤治療患者の利便性向上を図ることを目的とする</p> <p>計画・平成30年2月定例会議会において条例改正議決の後、地域医療構想調整会議で報告し、使用許可申請手続きを経て平成30年4月1日運用開始を予定</p> <p>(後略)</p>		現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)	高度急性期	—	→	予定なし	急性期	101床(うち地域包括16床)	回復期	45床	39床	慢性期	—	予定なし	(合計)	150床(うち感染症4床)	144床(うち感染症4床)	時点修正
	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)																																							
高度急性期	—	→	予定なし																																							
急性期	101床(うち地域包括16床)		現段階で変更予定なし 当該医療機関を取り巻く情勢を鑑み、検討していく																																							
回復期	45床																																									
慢性期	—																																									
(合計)	150床(うち感染症4床)		150床(うち感染症4床)																																							
	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)																																							
高度急性期	—	→	予定なし																																							
急性期	101床(うち地域包括16床)																																									
回復期	45床		39床																																							
慢性期	—		予定なし																																							
(合計)	150床(うち感染症4床)		144床(うち感染症4床)																																							

17	<p>(前略)</p> <p>(ア) 常勤医師数</p> <p>診療体制が縮小することのないよう、指定管理条件医師数を堅持しつつ、更なる医師の確保に努めます。</p> <table border="1" data-bbox="392 491 985 609"> <tr> <td>平成 29 年度</td> <td>平成 30 年度</td> <td>平成 31 年度</td> <td>平成 32 年度</td> <td>平成 37 年度</td> </tr> <tr> <td>10 人</td> <td>10 人</td> <td>11 人</td> <td>11 人</td> <td>12 人</td> </tr> </table>	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 37 年度	10 人	10 人	11 人	11 人	12 人	<p>(前略)</p> <p>(ア) 常勤医師数</p> <p>診療体制が縮小することのないよう、指定管理条件医師数を堅持しつつ、更なる医師の確保に努めます。</p> <table border="1" data-bbox="1146 491 1740 609"> <tr> <td>平成 29 年度</td> <td>平成 30 年度</td> <td>平成 31 年度</td> <td>平成 32 年度</td> <td>平成 37 年度</td> </tr> <tr> <td>10 人</td> <td>10 人</td> <td>10 人</td> <td>10 人</td> <td>10 人</td> </tr> </table>	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 37 年度	10 人	10 人	10 人	10 人	10 人	誤謬修正
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 37 年度																			
10 人	10 人	11 人	11 人	12 人																			
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 37 年度																			
10 人	10 人	10 人	10 人	10 人																			
17	<p>(前略)</p> <p>※記載なし</p>	<p>(前略)</p> <p>(エ) <u>病床利用率</u></p> <p><u>本プラン遂行の基本指針となる病床利用率 70%以上を目指します</u></p> <table border="1" data-bbox="1079 821 1785 940"> <tr> <td>平成 28 年度 実績値</td> <td>平成 29 年度</td> <td>平成 30 年度</td> <td>平成 31 年度</td> <td>平成 32 年度</td> </tr> <tr> <td>57.3%</td> <td>60.5%</td> <td>63.7%</td> <td>66.8%</td> <td>70.0%</td> </tr> </table> <p>(オ) <u>救急搬送割合</u></p> <p>(後略)</p>	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	57.3%	60.5%	63.7%	66.8%	70.0%	新たに設定する目標値を(エ)へ挿入し以下、符号を繰り下げる										
平成 28 年度 実績値	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度																			
57.3%	60.5%	63.7%	66.8%	70.0%																			
17 . 18	<p>(オ) 手術件数</p> <p>急性期の提供において、治療機能の一端を示す指標となるため、下記以上の確保を目標値として設定します。</p> <table border="1" data-bbox="392 1295 985 1361"> <tr> <td>平成 29 年度</td> <td>平成 30 年度</td> <td>平成 31 年度</td> <td>平成 32 年度</td> <td>平成 37 年度</td> </tr> </table>	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 37 年度	<p>(カ) 手術件数</p> <p>急性期の提供において、治療機能の一端を示す指標となるため、下記以上の確保を目標値として設定します。</p> <table border="1" data-bbox="1146 1295 1740 1361"> <tr> <td>平成 29 年度</td> <td>平成 30 年度</td> <td>平成 31 年度</td> <td>平成 32 年度</td> <td>平成 37 年度</td> </tr> </table>	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 37 年度	誤謬修正										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 37 年度																			
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 37 年度																			

750件	760件	770件	780件	800件
------	------	------	------	------

(カ) 紹介率・逆紹介率

中核病院として、病状に応じた医療の提供を通じ、地域の医療機関との連携・機能分化に努め、下記割合以上確保を目標値として設定します。

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 37 年度
31.5%	33.0%	34.5%	<u>35.0%</u>	<u>36.0%</u>
18.9%	19.8%	20.7%	<u>21.0%</u>	21.6%

(中略)

(ク) 在宅復帰率

一般病床は施設基準の算定要件（75%以上）、地域包括ケア病棟・回復期病棟では施設基準の算定要件（70%以上）として目標値を設定します。

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 37 年度
<u>82.0%</u>	<u>83.0%</u>	<u>84.0%</u>	<u>85.0%</u>	87.0%
<u>80.0%</u>	<u>81.0%</u>	<u>82.0%</u>	83.0%	83.0%

(後略)

727件	734件	741件	748件	800件
------	------	------	------	------

(キ) 紹介率・逆紹介率

中核病院として、病状に応じた医療の提供を通じ、地域の医療機関との連携・機能分化に努め、下記割合以上確保を目標値として設定します。

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 37 年度
31.5%	33.0%	34.5%	<u>36.0%</u>	<u>37.0%</u>
18.9%	19.8%	20.7%	<u>21.6%</u>	21.6%

(中略)

(ケ) 在宅復帰率

一般病床は施設基準の算定要件（75%以上）、地域包括ケア病棟・回復期病棟では施設基準の算定要件（70%以上）として目標値を設定します。

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 37 年度
<u>87.0%</u>	<u>87.0%</u>	<u>87.0%</u>	<u>87.0%</u>	87.0%
<u>83.0%</u>	<u>83.0%</u>	<u>83.0%</u>	83.0%	83.0%

(後略)